

# ドキドキキッズ きらきら園 H30年度 自己評価結果公表シート

## 1 園の保育理念

様々な経験を通して豊かな感性を育み、明るく元気にだれからも愛されるこどもに育つように、保護者や地域社会と連携を図り成長を見守ります

## 2 園の保育方針

家庭的な雰囲気の中、人との絆を大切に思いやりの心を育む  
自然のなかでのびのび遊び、心身共に健やかな成長を見守る

## 3 園の保育目標

やさしい心を持った素直な子ども  
何事にも楽しく取り組み、さいごまでやりとげようとする子ども  
健康で活発な明るい子ども

## 4 評価項目、取り組み状況、課題・改善策

評価項目		取り組み状況	課題・改善策
保育環境	子どもが安心して過ごせるための環境整備	保育室内に危険なところがないかチェックしたり、ヒヤリハット事案を周知、検証し、事故のない保育施設を目指している。	事故は事前にその兆候があることを念頭におき、ヒヤリハットの記入の促進を職員内ですすめる。保育室内の点検も複数で行うよう改善していく。
	子どもがのびのびと活動できるよう環境を作る	園庭のない園であるため、定期的に近くの公園に行き自然とふれあったり全身を使った遊びができるようにしている。	近隣の公園を利用しているため、他の利用者トラブルのないよう細心の注意を払うこと。お散歩の行き先については園内で日々の状況を管理できるよう書類を作成、記入するよう環境を整える。
	子どもが自由に遊びを展開し探究心を深められる環境を作る	子どもの興味に応じた遊びを用意したり、遊びを広げられるよう声掛けや雰囲気作りを心がけている。 12月におままごと遊びコーナーを充実させ、男女問わずみんなでおままごとを通して知識と経験を広げられるよう取り組んでいる。	子どもが主体的に遊べるよう、環境設定を再確認し、協議のうえ必要な玩具の準備を進める。遊びの適切な援助のために、日々、子どもの成長や状況について職員間で同一の意識を持てるよう情報の共有を意識する。
緊急時の対応	避難訓練と実施内容の検証	年間計画を立て訓練を通して各職員が状況を的確に把握し、行動できるよう努めている。 避難訓練の内容と反省点についてその都度職員で話し合い、共通理解を深めている。	緊急時の想定が同じような内容とならないよう、各回で具体的に設定し訓練計画を立てる。
研修	保育所保育指針の確認	研修および個人面談にて保育所保育指針に沿い、園の教育理念・教育方針に従うよう各職員に周知徹底している。	園の方針、保育所保育指針、子どもの実態に即した最善の指導計画の作成に取り組んでいく。
	職員の専門性を高める	職員は各種外部研修に参加し、専門知識の向上に努めている。学習した内容については職員会議にて全職員にフィードバックしている。	研修に参加する職員に偏りがないよう、それぞれの職員に参加を要請するようにする。フィードバックは研修後なるべく早く行い、知識の定着を高められるよう工夫する。
保護者対応	園での活動を積極的に伝え、保育の相互理解を	一人ひとりの保護者に対して、できるだけ声を掛け、子ども達の活動の様子など伝えるように心掛けた。また、園だよりやおたより等で、活動内容や必要な情報等を分かりやすく伝える努力をしている。	園での様子・家庭での様子の伝え合いは丁寧に出ている。しかし保護者の持つ悩みに対して助言が充分に出来ていない時もあるのではないかな。他の保育者に相談したり、園での取り組みを交えたりして、少しでも保護者の力となれるよう、園と家庭とで同じ対応が出来るよう、努力が必要だと感じる。
地域と園のつながり	園の立地を生かした地域とのつながり	園は須磨寺商店街の中にあり、商店街主催のイベントに園児も参加させてもらっている。散歩に出かける時に見守って頂いたり、色々とお声をかけてもらい、地域の方との交流を積極的に行っている。	地域の子育て家庭への支援も視野に入れ、一時預りの受入状況を開示したり、子育てイベントを行うことも積極的に進めていきたい。